

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年3月19日提出

所 属	職 名	氏 名
法学部&司法研究科	教授	岩野英夫
研 究 題 目	中世裁判文書の比較法史的研究—西欧と日本—	
研 究 成 果 の 概 要	<p>① 2008年度に、Rudolf Hübner, <i>Gerichtsurkunden der fränkischen Zeit</i>, Neudruck der Ausgabe Weimar1891-93, Scientia Verlag Aalen, 1971 が目録化している614点の裁判文書（ラテン語）の中の300点弱を仮訳することができた。</p> <p>② 2008年度に、Andrea Stieldorf, <i>Zum „Verschwinden“ der herrscherlichen Placita am Beginn des 9. Jahrhunderts : in Archiv für Diplomatik Schriftgeschichte Siegel- und Wappenkunde</i>, 2007 などの諸論文から裁判文書を分析するための新しい観点を得ることができた。</p> <p>③ 現在論文執筆中であり、2008年3月末日までに完成させる予定である。題名は「西洋中世初期における裁判のかたち」。同志社法学に掲載したい。</p>	